

# Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



MIS036-P83

会場: コンベンションホール

時間: 5月27日 14:15-16:15

## 東北地方太平洋沖地震に伴う山陰地方の温泉水の変動について Coseismic hot spring water changes of the 2011 Tohoku earthquake at the observation stations in San-in district

桑野 祐一<sup>1\*</sup>, 野口 竜也<sup>1</sup>, 香川 敬生<sup>1</sup>, 西田 良平<sup>2</sup>, 渡辺 邦彦<sup>3</sup>, 小泉 尚嗣<sup>4</sup>

Yuichi Kuwano<sup>1\*</sup>, Tatsuya Noguchi<sup>1</sup>, Kagawa Takao<sup>1</sup>, Nishida Ryohei<sup>2</sup>, Watanabe Kunihiko<sup>3</sup>, Koizumi Naoji<sup>4</sup>

<sup>1</sup> 鳥取大学, <sup>2</sup> 放送大学, <sup>3</sup> 地震情報研究会, <sup>4</sup> 産業技術総合研究所

<sup>1</sup>Tottori University, <sup>2</sup>The Open University of Japan, <sup>3</sup>Seminar for Earthquake Information, <sup>4</sup>AIST

2000年鳥取県西部地震後の2002年より山陰地方では15地点の温泉水の水温(0.01 精度)・水位観測を実施しており、2008年12月より8点で水温・水位観測を継続している。そのうち数地点においてM6以上の地震後に変化がみられている。今回の東北地方太平洋沖地震では、地震後2日以内に、急激な水温の上昇が、岩井温泉(約1.86℃)、奥津温泉(約0.23℃)、湯谷温泉(約0.18℃)、吉岡温泉(約0.28℃)で、急激な水温の低下が鷺の湯温泉(約0.23℃)でみられた。その後、岩井温泉、鷺の湯温泉、湯谷温泉では水温が上昇する傾向がみられ、吉岡温泉では水温が低下する傾向がみられる。急激な水温変化後から4/28までに、岩井温泉では+0.47℃、鷺の湯温泉では+1.07℃、湯谷温泉では+0.51℃、吉岡温泉では-0.79℃の温度変化があり、奥津温泉では変化がなかった。また、岩井温泉の水温については地震発生3日前に、低下から上昇のトレンドに変化していることがわかった。

キーワード: 温泉, 水温変化, 山陰地域, 東北地方太平洋沖地震

Keywords: hot spring, temperature changes, San-in district, the 2011 Tohoku earthquake